

令和3年3月



志賀町学校施設長寿命化計画【概要版】

学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

■背景

志賀町では現在、志賀と富来の地区毎に各1校の小中学校が位置しています。

当面この現状施設（体制）を維持していくため、本町における学校施設の状況を把握し、長期的な視点を持って、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化に寄与するとともに、学校施設の最適な配置を検討する必要があります。

【国、社会】

- 学校の長寿命化、ライフサイクルコスト（LCC）の縮減への取組み強化。
- 学校へ求められる機能の多様化。

【志賀町】

- 将来的な人口減少や税収減少。

課題



学校施設

- ◆ 更新・統廃合・長寿命化による財政負担の軽減・平準化。
- ◆ 学校施設の最適な配置を検討。

■目的

- 長寿命化という考え方を積極的に取り入れ、更新・改修および維持管理の中長期的な整備計画の策定により、財政負担の軽減・平準化を図ります。
- 子どもたちにとってより良い教育環境を継続的に確保します。

■計画期間

【計画期間】

2021年度(令和3年度)から2054年度(令和36年度)まで

【整備計画期間】

2021年度(令和3年度)から2030年度(令和12年度)までの10年間

■対象施設

本計画の対象となる学校施設は、小学校2校・中学校2校の計4校です。

学校名		住所	棟別名称
小学校	志賀小学校	志賀町高浜町マの14番地1	全校舎、屋内運動場
	富来小学校	志賀町相神にの80番地	全校舎、屋内運動場
中学校	志賀中学校	志賀町高浜町ノの152番地	全校舎、屋内運動場
	富来小学校	志賀町富来領家町ハ1番地1	全校舎、屋内運動場

学校の目指すべき姿

- (1) 安全・安心な学校施設づくり
- (2) 誰もが快適な環境となる学校施設づくり
- (3) 充実した学校教育を実践できる学校施設づくり
- (4) 環境にやさしい学校施設づくり
- (5) 地域の拠点となる学校施設づくり

学校施設の実態

■学校施設の老朽化状況の実態

学校施設4校（全15棟：建物調査は棟別に実施）の評価結果は以下のとおりです。

学校名		棟番号	建物名	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	劣化状況評価					
							西暦	和暦		屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点満点)
小学校	志賀	10	屋内運動場	RC	2	1,444	1979	S54	41	D	B	B	C	C	61
	志賀	13-1,13-2	校舎	RC	2	1,406	2017	H29	3	A	B	A	A	A	93
	志賀	11	校舎	RC	3	8,633	2015	H27	5	A	B	A	A	A	93
	富来	9,10	屋内運動場	RC	1	1,082	2008	H20	12	B	B	A	A	A	91
	富来	1-1,1-2	校舎	RC	3	2,530	1974	S49	46	B	B	B	C	C	66
	富来	8	校舎	RC	2	1,511	2004	H16	16	D	B	B	B	B	70
中学校	志賀	1,8	屋内運動場	RC	3	3,911	2006	H18	14	C	B	B	A	A	78
	志賀	2,5,9	校舎	RC	3	5,451	2006	H18	14	B	B	B	A	A	81
	志賀	3	校舎	RC	2	693	2006	H18	14	B	B	A	A	A	91
	志賀	4,6,7	校舎	RC	3	3,105	2006	H18	14	C	D	B	A	A	60
	富来	8,9	屋内運動場	S	1	886	1970	S45	50	A	B	A	C	C	78
	富来	14,18,19	屋内運動場	RC	2	1,808	1979	S54	41	A	B	A	C	C	78
	富来	7-1,7-2,7-3	校舎	RC	3	2,506	1963	S38	57	A	B	B	C	D	65
	富来	12,13	校舎	RC	3	1,082	1974	S49	46	A	B	A	C	D	74
	富来	15,21	校舎	RCS	3	1,168	1981	S56	39	A	B	B	B	D	69

学校施設の実態を踏まえた課題

課題1 学校施設の有効活用

- 児童生徒数の減少などにより生じる余裕スペースの有効活用を考えていく必要があります。
- 富来地域については、著しく将来児童数の減少が予想されるため、学校施設のあり方検討（施設複合化の検討など）が必要となります。

課題2 老朽化や更新時期の集中への対応

- 学校施設の改修等にあたっては、不具合の発生を未然に防ぐ予防保全型の管理への転換および施設の長寿命化を図ることにより、学校施設の改修等の時期の集中化を避けると共に、事業費の縮減と財政支出の平準化が重要な課題となります。

課題3 計画的な老朽化対策

- 安全・安心に利用できる機能を維持し続けるための老朽化対策が必要です。
- 本学校施設は塩害の影響を受けやすい特性（海岸線付近に立地している）があるため、塩害にも考慮した計画的な老朽化対策を講じる必要があります。

学校施設整備の基本的な方針等

■学校施設の基本方針

総量・体制の維持

■改修等の基本的な方針

安全確保と長寿命化

効率的な運営

従来のような建築後40～50年程度で改築(建替え)するのではなく、建物を長く使うための計画的な改修「長寿命化改修」を行うため、「事後保全」型から「予防保全」型への転換を図ります。

【これまで】
事後保全
(不具合発生後に保全)



【これから】
予防保全
(不具合を未然に防止)

■改修周期の設定

予め改修周期を設定することで、目標使用年数まで健全に建物を使用することが可能となります。

本町では、築20年と築60年を目安に原状回復を目的とした大規模改造を実施し、築40年を目安に、建物・設備の性能・機能向上も含めた保全を行う長寿命化改修を実施することを基本とします。

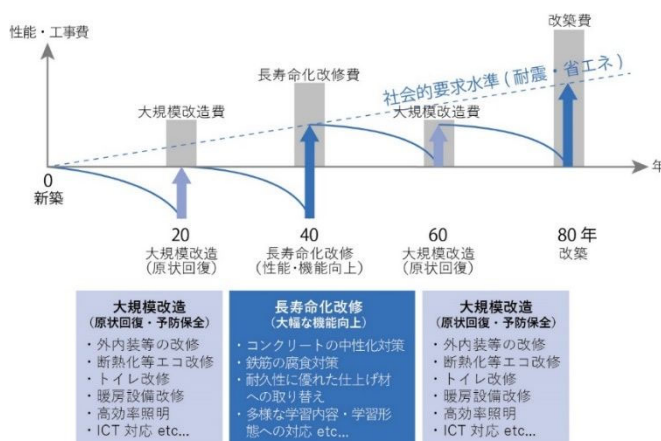


図 改修のイメージ

長寿命化の実施計画

■学校施設の改修の優先順位付け

【改修すべき棟】

劣化状況調査の健全度結果の内、対象部位（5項目）いずれかの評価がC又はDの棟を改修します。

■実施計画の基本的な考え

本町における直近10カ年の実施計画については、概ね以下の表の計画を基本として進めるものとします。社会情勢の変化や財政運営状況などによっては、老朽化状況を鑑み実施時期の変更・先延ばしなどの対応を検討していくものとします。

		R3年 (2021年)	R4年 (2022年)	R5年 (2023年)	R6年 (2024年)	R7年 (2025年)
小学校	志賀	整備準備期間 (計画・設計など)				棟番号：10 屋根・屋上 電気設備 機械設備
	富来					
中学校	志賀				棟番号：4,6,7 屋根・屋上 外壁	
	富来		棟番号：7-1,7-2,7-3 棟番号：12,13 棟番号：15,21 機械設備	棟番号：7-1,7-2,7-3 棟番号：12,13 電気設備		
		R8年 (2026年)	R9年 (2027年)	R10年 (2028年)	R11年 (2029年)	R12年 (2030年)
小学校	志賀					
	富来	棟番号：8 屋根・屋上	棟番号：1-1,1-2 電気設備 機械設備			
中学校	志賀					棟番号：1,8 屋根・屋上
	富来			棟番号：8,9 電気設備 機械設備	棟番号：14,18,19 電気設備 機械設備	

校舎
屋内運動場

長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果・今後の課題



■長寿命化による効果・今後の課題

① 施設面	- 児童生徒の安心安全を確保 - 社会情勢に応じた学校施設のあり方を検討できる
② コスト面	- 偏った財政負担を軽減 - ライフサイクルコストの縮減
③ 環境面	建替え時に発生する廃棄物や二酸化炭素を抑え、環境への負荷を軽減

長寿命化型の施設整備にあわせ次の事項に積極的に取り組む必要があります。

長寿命化型の
施設整備



他公共施設を複合化させる

施設を共有化（地域利用の促進）させる